［｛（0.4 × J ＋ 0.1 × K ＋ 0.1 × L ＋ 0.1 × M ＋ 0.1 × N ＋ 0.1 × O ＋ 0.1 × P）× β × 0.215 － α｝× 1 ／ 3 ＋ α］× 1.000

0.4 × J、0.1 × K、0.1 × L、0.1 × M、0.1 × N、0.1 × O、0.1 × P、｛（0.4 × J ＋ 0.1 × K ＋ 0.1 × L ＋ 0.1 × M ＋ 0.1 × N ＋ 0.1 × O ＋ 0.1 × P）× β × 0.215 － α｝及び［｛（0.4 × J ＋ 0.1 × K ＋ 0.1 × L ＋ 0.1 × M ＋ 0.1 × N ＋ 0.1 × O ＋ 0.1 × P）× β × 0.215 － α｝× 1 ／ 3 ＋ α］に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。

算式の符号

J　次の算式Ⅰによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅰ

J ＝ 0.31 ×（k － j）＋ γ

算式Ⅰの符号

［略］

k　平成26年から平成28年までの各年における人口増減率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

γ　特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市にあっては 1.75 とし、特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市以外の市にあつては 2.29 とし、町村にあつては 2.62 とする。

K　次の算式Ⅱによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅱ

K ＝ 0.31 ×（m － l）＋ 2.10

算式Ⅱの符号

［略］

m　平成 26 年から平成 28 年までの各年における転入者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅲ

L ＝ － 0.37 ×（o － n）－ 0.24

算式Ⅲの符号

（0.4 × J ＋ 0.1 × K ＋ 0.1 × L ＋ 0.1 × M ＋ 0.1 × N ＋ 0.1 × O ＋ 0.1 × P）× 0.115

0.4 × J、0.1 × K、0.1 × L、0.1 × M、0.1 × N、0.1 × O 及び 0.1 × P に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、（0.4 × J ＋ 0.1 × K ＋ 0.1 × L ＋ 0.1 × M ＋ 0.1 × N ＋ 0.1 × O ＋ 0.1 × P）× 0.115 に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。

算式の符号

J　次の算式Ⅰによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅰ

J ＝ 0.31 ×（k － j）＋ 1.97

算式Ⅰの符号

［同左］

k　平成25年から平成27年までの各年における人口増減率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

K　次の算式Ⅱによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅱ

K ＝ 0.32 ×（m － l）＋ 2.07

算式Ⅱの符号

［同左］

m　平成 25 年から平成 27 年までの各年における転入者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅲ

L ＝ － 0.38 ×（o － n）－ 0.17

算式Ⅲの符号